

資料に親しむ会 令和4年度第10回

「大正・昭和初期の流行図案に親しむ」

京都府立京都学・歴彩館職員が「大正・昭和初期の流行図案に親しむ」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和5年2月14日（火）午後2時～3時

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 42名

■ 内 容 明治中期から昭和の初期までの図案の変遷を概観し、海外の芸術思潮の導入や日本の古典模様の復興によってバリエーションを広げる図案の表現方法の変化と懸賞図案やそれを掲載する図案集・雑誌が図案や図案家に果たした役割を述べた。最後に老舗呉服店から出発した百貨店が流行図案づくりに奔走してきた様子を高島屋の百選会をとおして紹介した。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- 京都ゆかりの画家などの先人の業績も再確認できた。
- 様々な図案集の存在を知れて、気になるものをまた見に来たいと思った。
- 近代の図案の変遷がわかりやすく、デザインの魁が百貨店というのが興味深かった。
- メリハリのある口調でわかりやすかった。
- 今まで知らなかった事柄に触れられて益々探求したくなる講座でした。

（講座の様子）

